

# 京浜臨海部（未広町地区）における まちづくりの取組をさらに推進

～AGC(株)による  
バイオ医薬品のCDMO施設の整備～

2023年12月21日  
市長定例記者会見

# 京浜臨海部について

## ✓京浜臨海部のポテンシャル

- ・羽田空港や横浜都心臨海部、横浜港などと近接する**恵まれた立地**
- ・**高度な産業**や**豊富な人材**の集積

立地企業による産業構造の転換などが進み、  
様々な分野の**研究開発施設の集積**が続いている



▲キオクシア(株)



▲(株)レゾナック



▲国立研究開発法人  
理化学研究所



▲京浜臨海部（末広町地区）の立地

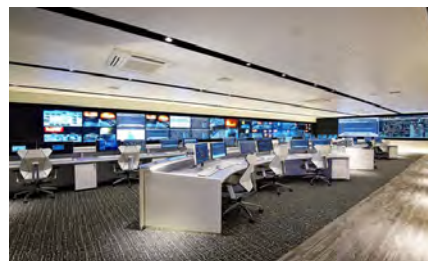
国際競争力の強化や地域の魅力向上などを目指して「京浜臨海部再編整備マスタープラン」策定  
鶴見区の**末広町地区を重点地区**とし、立地企業と連携して将来のまちづくりを検討

# 末広町地区について

大規模な製造業、研究機関、ベンチャー企業などが立地する産業エリア  
(面積：約260ha 従業員数：約10,000人)



✓各企業が最先端技術を生かした取組を推進



▲国内外プラントの遠隔監視  
(JFEエンジニアリング(株))



▲建材一体型太陽光  
発電ガラス (AGC(株))

今回、AGC(株)が末広町地区で  
ライフサイエンス事業の

**新施設の整備を決定！**

# AGC(株)の新たな施設について

明日をひらく都市  
OPEN × PIONEER  
YOKOHAMA

- ✓ バイオ医薬品の製法開発や製造等を代行するCDMO施設を整備
- ✓ 感染症パンデミック発生時には ワクチン製造に切り替え可能なデュアルユース仕様



▲新施設の完成予想図

稼働開始

2026年予定

雇用人数 (見込み)

**約400名** (最大稼働時)

## 「AGC株の投資目的」と「横浜市の強み」が合致

### AGC株の 投資目的



海外依存度が高いバイオ医薬品の国内での**開発・製造能力向上**



感染症パンデミック時に、国内で様々なタイプの**ワクチン原薬を供給**



細胞治療薬の分野で、特に重要となる**タイムリーな供給の実現**



### 横浜市の 強み

海外や日本各地との  
高いアクセス性  
(羽田空港・都心等に近接、  
人材確保面でも優位)

ライフサイエンス  
関連施設の集積  
(国際戦略総合特区の指定など)

産業構造の転換が進展  
(重工長大から研究開発へ)

末広町地区にバイオ医薬品**CDMO施設の整備を決定**

# AGC横浜テクニカルセンター (横浜市鶴見区)での バイオ医薬品CDMO施設の新設

The AGC logo is displayed in a white rectangular box on the right side of the slide. It consists of the letters 'AGC' in a bold, blue, sans-serif font, with a small red square positioned above the letter 'C'.

AGC株式会社  
代表取締役兼社長執行役員  
平井 良典

2023年12月21日

Your Dreams, Our Challenge

# 横浜市で操業を継続して107年

- 1916（大正5）年に当社東日本初の製造拠点を横浜に開設。100年以上の間、ガラス事業の先端製造拠点として操業を継続
- 2020（令和2）年に新研究棟が完成、旧中央研究所との統合により最先端のオープンイノベーションの拠点に



▲1916年（大正5年）操業当時



- 製薬会社のパートナーとして、**医薬品の製造や製造プロセスの開発を受託する会社**をCDMO (Contract Development Manufacturing Organization) と呼ぶ。
- **医薬品の構造や製造技術が複雑化**し、新薬の研究開発に**巨額な投資**が求められる中、製薬会社は新薬を生み出す研究と販売に集中し、その**製造プロセスの開発や製造を外部に委託する水平分業化**が進んでいる。



新薬をいち早く、安定的に市場に供給するため、作業を分業。





投資の概要	
所在地	横浜市鶴見区（AGC横浜テクニカルセンター）
投資内容	バイオ医薬品（抗体医薬品、メッセンジャーRNA（以下、mRNA）医薬品、遺伝子細胞治療薬）の製法開発・製造施設の新設 （千葉工場に次ぐ第二の国内バイオ医薬品施設）
特長	<ul style="list-style-type: none"><li>・抗体医薬品のバイオリアクターは国内CDMOとしては最大級のスケール*</li><li>・パンデミック発生時にはワクチン製造に切り替えできるデュアルユース仕様</li><li>・経済産業省の「ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業」に採択</li></ul>
稼働開始予定	2026年（2025年に既存棟において細胞治療薬の製法開発を先行開始予定）
投資総額（見込み）	約600億円
雇用人数（見込み）	フル稼働時には約400名の雇用を想定

日米欧の既存拠点で培った豊富な実績・知見を活かし、  
海外依存度が高いバイオ医薬品の国内での開発・製造能力向上に貢献。

# 立地の優位性と新施設のイメージ

- ✓ 当社の欧米拠点で培った最先端の製法開発・製造技術を導入
    - 多様なモダリティの開発・製造ニーズに、開発初期から商用段階まで幅広く対応
    - 言語、時差などのコミュニケーションリスクがなく、欧米拠点と同様に日米欧GMP\*に対応した高品質・高水準のサービス提供
- \*Good Manufacturing Practice、医薬業界の準拠すべき製造品質基準
- ✓ 東京都心 及び 羽田空港から至近の横浜市
    - 国内外からの顧客等訪問や技術導入も含めた良好なコミュニケーション環境
    - 人材確保面での優位性
    - 特に細胞治療薬において重要となる患者様へのタイムリーな供給に貢献
  - ✓ グレーターバイオ東京コミュニティの圏内で、京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区にも指定
    - 近隣の企業・大学・研究機関とのオープンイノベーションを推進し、国内バイオ産業の発展に貢献



新施設の完成予想図

# AGCライフサイエンス事業のグローバル展開

- 日米欧3極・10拠点で統合された高度なcGMP\*体制を構築し、どの地域からも同様に高水準な開発・製造サービスを化学合成/微生物由来の組み換えタンパク質/抗体医薬品/プラスミドDNA (pDNA)/mRNA/遺伝子・細胞治療/エクソソームなど幅広い分野で提供



\*最新の医薬品および医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準

## 全社戦略

コア事業と戦略事業を両輪として、最適な事業ポートフォリオへの転換を図り、  
継続的に経済的・社会的価値を創出

### コア事業

各事業の競争力を高め、強固で長期安定的な  
収益基盤を構築



建築ガラス



オートモーティブ  
(既存)



ディスプレイ



エッセンシャル  
ケミカルズ



パフォーマンス  
ケミカルズ



セラミックス

### 戦略事業

高成長分野において、自社の強みを活かし、  
将来の柱となる高収益事業を創出・拡大



エレクトロニクス



モビリティ



ライフサイエンス

- 社会的価値と経済的価値の両立により成長

独自の素材・ソリューションの提供を通じてサステナブルな社会の実現に貢献するとともに  
継続的に成長・進化するエクセレントカンパニーでありたい

## 企業価値向上

社会的価値



5つの社会的価値の創出

サステナビリティ経営の推進

経済的価値



安定的にROE10%以上

事業ポートフォリオ変革



## 末広町地区における、今後のまちづくり

- ✓末広町地区ではA G C (株)を含めた立地企業7社が「まちづくり協議会」を設立。C D M O施設が位置する**弁天橋駅周辺エリア**において、**先端研究開発**が行われる新たなまちづくりを検討。
- ✓また、末広町地区には、**G X※関連の先端技術**を有するグローバル企業が集積し、実証実験や新技術開発などの脱炭素イノベーション創出に向けて取り組んでいる。

※GX：グリーントランスフォーメーション



食品廃棄物リサイクル(H30.8~)  
【株Jバイオフードリサイクル】



アンモニア燃焼実証(R5.6)  
【AGC株】



メタネーション実証(R4.4~)  
【東京ガス株】  
※R5.7：ごみ焼却工場のCO2活用



下水汚泥からリン回収(R5.3~)  
【横浜市・JFEエンジニアリング株】

# 未広町地区における、今後のまちづくり

国内外から研究者が集まる  
先端研究開発拠点

GXの実現に繋がる投資を呼び込む  
脱炭素化推進エリア

日本や世界の課題解決に繋がるイノベーションが、  
未広町地区を舞台に展開されるよう、  
AGC（株）をはじめとする立地企業の皆様との連携により、  
新たなまちづくりを推進

